

子どもの医療費 窓口無料化の署名 県知事に提出

伊那民報

発行：日本共産党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

7万4千人分、福祉医療給付を進める会

子育て中の家庭の切実な願いである「子どもの医療費の窓口無料化」の実現のために、共産党伊那市委員会が取り組んでいる署名で、集まった約二千近くを、5月20日に、「福祉医療給付を進める会」を通して、阿部長野県知事に提出、要請行動が行われました。

全県で窓口無料化を求める署名運動にとりくみ、これまでに7万4千人分余の署名が集まり、今回提出したものです。福祉医療給付を進める会の和田浩会長（健和会病院小児科医師）は「お金の心配なしに病院にかかれ、安心して子育てができるようにぜひ実現してほしい」と要請しましたが、阿部知事は「市町村の意向にお構いなしにはできない」と答えるにとどまり、後ろ向き姿勢を示しました。



阿部知事（左）に署名提出

また、懇談会に参加した子育て中の母親らの「多くの県で無料化しているのに、長野県で

できないのはおかしい」との声に、知事は「とびぬけておかしいとは思わない」と述べました。

「会」や共産党では、引き続き宣伝や署名などの運動を盛り上げ、同時に、県民の切実な要望に背を向ける冷たい阿部県政の転換に向け、とりくみを強めるとしています。

2000円バス実現に向け

共産党は、4月の市議選で「2000円で気軽に利用できる地域循環バスの実現」を提案し奮闘しました。

具体的なニーズや要望を、さらに把握するとともに、すでに均一公共交通を実現している箕輪町、南箕輪村、木曾町などの視察や研究を行い、国・県などの補助制度等も調べ、市民や諸団体と連携し要求実現にむけて運動をすすめるとしています。

この要望は長谷・高遠、西箕輪地域をはじめ、広範な人々から切実に求められ、期待されています。



伊那市長、市議選へのご支援に感謝申し上げます

伊那市長選は健闘し、市議選は現有3議席を維持することができましたが、大場美広さんが議席に届かなかったことに心からお詫び申し上げます。

今後、子どもの医療費窓口無料化や2000円バスの実現、伊那中央病院の差額ベッド代引

2014年4月28日

日本共産党伊那市委員会

地蜂

6月です。「本当に暖かく感じられる春が、今年はどうも十分ではなかったね」とは、最近のお年寄りの会話です。こんな、

季節をめぐる実感は、政治の動向を巡る不安とも絡んでいるようです。原発の再稼働を「不可」とする大飯原発をめぐる司法判断に、関電は控訴しました。「南シナ海」では、海底油田の開発をめぐる、中国のベトナムへの威嚇行為が目立ちます。安倍内閣の「暴走」が、国民の真の願いをはぐらかす方向を向いていることはわかっていても、それに引きずられる世論動向が、どうしても気がかりです。4月の伊那市長選は、物怖じしない青年候補のすばらしさに打たれつつ、現市政の方向への歯止めを作り出した大きな成果を生みました。しかし、「市民本位」や「暮らしつつげたい伊那市」とか、そんなことばの中で、対決点が、十分鮮明になっていなかったのではないかと思うのも事実です。「より若い世代に力強く引き継ぐことを探ろう」とは、よく聞かれることばです。つまりは、こうした心ある人々の本当の思いを、現情勢でののかさめるかの対決の中で、本当に実のある、展望の見えるものにしていきたいと改めて思う昨今です。伊那市でも、そのための「百家争鳴」を求めたいものです。

(K・W)

細ヶ谷(西春近) 住民が立ち上がる

西春近細ヶ谷に、片桐建設(伊那市)が太陽光発電(A・B・Cの3地区に1千キロワット、総工費約4億円)を建設するとの計画を、地区住民が知ったのは、平成24年8月でした。

住民らは、説明会の開催と計画の断念を求めましたが、同社は拒否し続け、それから7カ月後の平成25年3月に初めて説明会を開催しました。

説明会は、太陽光パネル設置位置を示した図面1枚のみのもので、「反射光や雨水の処理、景観の悪化、地価の下落」問題などの質問、要望、意見を出した住民には、納得できるものではありませんでした。その後2回の説明会の中で、



民家のすぐ近くまで迫る太陽光パネル

民家に2メートルに迫ったA地区に設置はしないとの声明はありましたが、実証実験や他の地域での実績データなどの疑問は一切答えませんでした。

建設を強行、恫喝訴訟に

平成25年10月27日、同社は、建設を前提にした現地説明会を行い、同時に、B・C地区に太陽光パネルを設置し、今年4月末に通電を開始しました。

また同社は、今年2月にA地区に隣接している土生田勝正さんに突然、「建設を遅らせた」などとして、2億4969万円の内5千万円と名誉棄損による慰謝料として1千万円、合計6千万円の損害賠償を求める訴訟を起こしました。

住民が支援を呼びかける

第1回公判が5月14日、長野

地裁伊那支部で行われ、細ヶ谷住民ら65名余が傍聴に駆けつけました。

住民の小出武広さん(63歳)は「細ヶ谷の人たちは太陽光発電を否定しているわけではない。生活環境が大きく変わる計画には賛成できない。私たちは当然の事を主張しているだけ」と話しています。

訴えられた土生田勝正さんは「不当な恫喝訴訟に負けられない。大勢の人に支援を頂き心強

法日 憲記

改憲と原発再稼働に警告

吉原泰助さんが記念講演

5月3日J A上伊那本所で、福島大学元学長で福島県9条の会代表の吉原泰助さんは、「福島からの訴え」と題して300人を前に講演しました。

日本国憲法にふれ、福島出身の憲法学者鈴木安蔵など「憲法研究会」が提出した草案をもとにGHQが起草したもので「歴史の英知」である。9条は、第2次世界大戦で5000万人とその肉親の血と涙の犠牲の上に生み出されたもの。戦後70年の歴史の中でいかなる国の人をも殺さない名誉ある地位を日本は

い。片桐建設が取り下げなければ、反訴し勝利するまで争いませ」と表明し、支援を訴えています。6月1日午前10時から現地見学会と交流会を予定しています。集合場所は「山のそば屋・はるちか」駐車場(伊那スキーリゾート登り口、中央道を越えて左側に案内があります)です。なお、次回の裁判は6月18日(水)午後4時45分長野地裁伊那支部で行われます。

歩んできた。「憲法のこの平和主義の原則を破壊する安倍内閣のめざす道は子どもたちを再び戦火にさらす恐れがある」と警告しました。

原発問題では、事故の收拾も使用済み核燃料の処理もできないで、原発の再稼働や輸出さえ目論む政府を厳しく批判。「核と人間は共存できない」などと訴え「大人としての責任を果たそう」と呼びかけました。



講演する吉原氏

戦争する国づくりノー！ 憲法記念集會に2400人

長野市

4月29日、長野市内での「平和憲法を守り生かす県民集會」に、2400人が集い、宇都宮健児弁護士の講演を聞き、伊那市からも多勢が参加しました。

参加者から感想が寄せられたので紹介します。

戦争は絶対ダメ

東春近SKさん

「9条が危ない」といわれ

ている時、憲法を良く知っている人の話を聞きたいと思っていたところ、宇都宮健児さんの講演があると聞き、バスで地域の皆さんと参加しました。

講演では、戦後の日本がせっかく良い社会を築いてきたのに、今、戦争を臭わせる動きが急に作られているその中で政党やイデオロギーを超えて運動を大きくすること。憲法を自分たちの生活、暮らしに

要望の実現に向けて

柳川ひろみ

選挙が終わりさっそく要望の

でどう取り上げるかを考え中です。

実現に動いています。砂利を敷いてほしいとか、道路の端を子どもが歩けるように山盛りの土をなんとかしてほしいとか細かいところから始めていきます。

もう少し大きな課題は調査をして政策にして市議会

今調査をしているのは、出来て十年くらいたった宅幼老所の改修費用がかさんで経営を圧迫していることです。県が補助制度を作ってくれば一番よいですが、改修費用がかさんで人件費を圧迫しています。

窓の市議



プラカードコンクールで優勝した農民組合の案山子も一緒にデモ参加

第85回 メーデー伊那中央大会

生かす取り組みが大事だとの内容でした。また、教育のあり方や天皇制についても聞くことができてよかったです。戦争は絶対してはいけませんね。



宇都宮健児弁護士と会場いっぱい聴衆

プロ & ぷろ

スポーツ雑感

建石繁明

スポーツは、フェアプレイの心(精神)を最大限に発揮する営為とされています。オリンピック選手にドーピングが顕在化したところ、参加選手にアンケートを実施したところ、金メダルを取るためなら80%余の選手が、薬物の使用も辞さないと言っていたのは驚いた記憶があります。

人は金メダルや勲章、名誉のためなら、悪魔の囁きに、つい心を傾けてしまふ弱さをもっているようです。でもアンフェアな事をして見付からなくても、自分の心には深い傷となって残る人もあるかもしれません。

私が見聞きした事柄などから感じるのは、オリンピックに代表されるスポーツには、どうも金の臭いがします。誤解を恐れずに一言で表現すれば「現代で最大の錬金術」がスポーツであると言ふことになるかも知れません。選手獲得に対する天文学的な契約金の額は一般庶民の生活とは全く無縁なものに思われます。

スポーツ選手を取り巻く現在の状況を見ると、最大の被害者は選手そのものとも言えるかも知れません。人生は競争だ！の箴言を日々体現させられているからです。資本主義社会の現実には「競争なきところから発展なし」の哲学のもとに我々は生きています。

人類は、奴隷制社会、封建制社会そして資本主義社会とその歴史を歩んできたのですが、その歴史から本当の人間解放の道を目指したいものです。

随想

会議連絡は電報で

御園 小池 かく

夜中に「電報だよ」と叩き起こされ、出てみると、共産党の会議連絡でした。また、機関紙「アカハタ」は他人にはわからないように、手から手へと渡して配布していました。

戦後、自由な世界が訪れてきましたが、日本共産党が今の姿になるまでには幾多の山や谷がありました。戦後の日本を統治していたアメリカ軍のマッカーサーの下、共産党中央の幹部が追放されたり、非合法で党活動をせざるを得ない状況があったのです。

戦争が終わって間もなく、街角で共産党の印刷物を買っていました。私はまだ学生だったのですが、それを買ったことを覚えています。その事が私を共産党に接触させることになりました。

私は、私なりに山や谷を越えて60有余年、活動をつづけてきました。今は、家庭のことや健康上の諸事情があり、人生の後半はあまり自慢できません。これが私の姿です。

健し案内

第19次東北被災地支援隊派遣

6月6日(金)～8日(日)

岩手県釜石・大槌方面

支援募金、物資募集中

連絡先 党地区委員会 (72-2465)

さわやかウォーキング

6月10日(火)午前9時50分

辰野町ほたる童謡公園集合

主催 上伊那医療生協健康づくり委員会

連絡先 組合員センター (79-8702)

第54回上伊那母親大会

6月15日(日)11時半受付開始

南箕輪村民センター

日程 12:00～14:00 分科会

14:15～14:55 全体会1

15:00～16:30 記念講演

16:30～16:50 全体会2

16:50 閉会

記念講演 福富みずほ先生

(上伊那医療生協病院付属診療所長)

演題 「物語られるいのち」から
延命治療を考える

資料代 500円

主催 実行委 代表委員 山崎桂子
(73-5360)

絵手紙

高尾町

辰野よし子



「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時半

いなっせ北側広場

主催 さよなら原発上伊那の会

連絡先 医療生協組合員センター

(79-8702)